

The background of the page features a large, abstract graphic on the left side. It consists of several large, faceted geometric shapes, possibly cubes or pyramids, rendered in a low-poly style. These shapes overlap each other, creating a sense of depth. The colors used in the graphic are a vibrant gradient, transitioning from deep red at the top to bright yellow in the middle, green on the left, and blue at the bottom. The right side of the page is a plain white space.

**IK INABATA**

企業概要



社是

# 愛 敬

Mission

経営理念

「愛」「敬」の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献する

Vision

目指す姿

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、  
グローバルに事業を展開することにより、価値ある存在として常に進化を続ける

IK Values

価値観

- 謙虚さと誠実さを基本とする(倫理観)
- 高い理想、大きな夢、熱い心を持って常に限界に挑戦する(志)
- 自由闊達な議論とチームワークを重んじ、社員の成長を大切にする(組織風土)
- 顧客の問題を顧客の立場から解決し、顧客のベストパートナーとなる(機能)
- 世界の人々と価値を共有し、そこに暮らす人々と共に発展する(共生)

## トップメッセージ

商社ならではの複合機能の高度化を図り、時代が必要とする価値を創造します。

1890年、京都の地で合成染料の輸入販売から創業した当社は、ケミカル事業を中心に事業を拡大してきました。現在は海外17カ国、約60拠点のネットワークを構築し、連結売上高に占める海外事業の割合が5割を超える企業グループとなりました。

今後一層加速するであろうビジネスのグローバル化や市場ニーズの変化に対応し、当社の持続的成長を実現するため、将来のありたい姿を想定した長期ビジョンを策定しました。

### 長期ビジョン IK Vision 2030 —2030年頃の当社グループのありたい姿—

<b>機能</b> 商社機能を基本としつつも、製造・物流・ファイナンス等の複合的な機能の一層の高度化を図る	<b>規模感</b> 連結売上高1兆円以上を早期に実現
<b>海外比率</b> 70%以上	<b>ポートフォリオ</b> 情報電子・合成樹脂以外の事業の比率を1/3以上に

創業以来130年余りにわたり培ってきた販売・製造・物流・ファイナンスといったさまざまな機能を、国内外の拠点を結ぶ緊密な情報ネットワークと組み合わせ、より高度なソリューションを提供することにより、これからも時代が必要とする価値を創造し続けます。また、長期ビジョン実現の第2ステージとして、中期経営計画 New Challenge 2023 を推進しています。長期ビジョンを見据え、中期経営計画の達成を目指して、社会や顧客から必要とされる企業として進化を続けていきます。

### 中期経営計画 New Challenge 2023 —主要重点施策—

- 主力ビジネスのさらなる深掘りと成長分野への横展開
- 将来の成長が見込める市場への多面的な取り組みと確実な収益化
- 将来の成長に向けた投資の積極化
- グローバルな経営情報インフラの一層の高度化
- 保有資産の継続的見直しと資金・資産のさらなる効率化
- 人的資本活用に向けた取り組みの強化

皆様には、これまでと変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

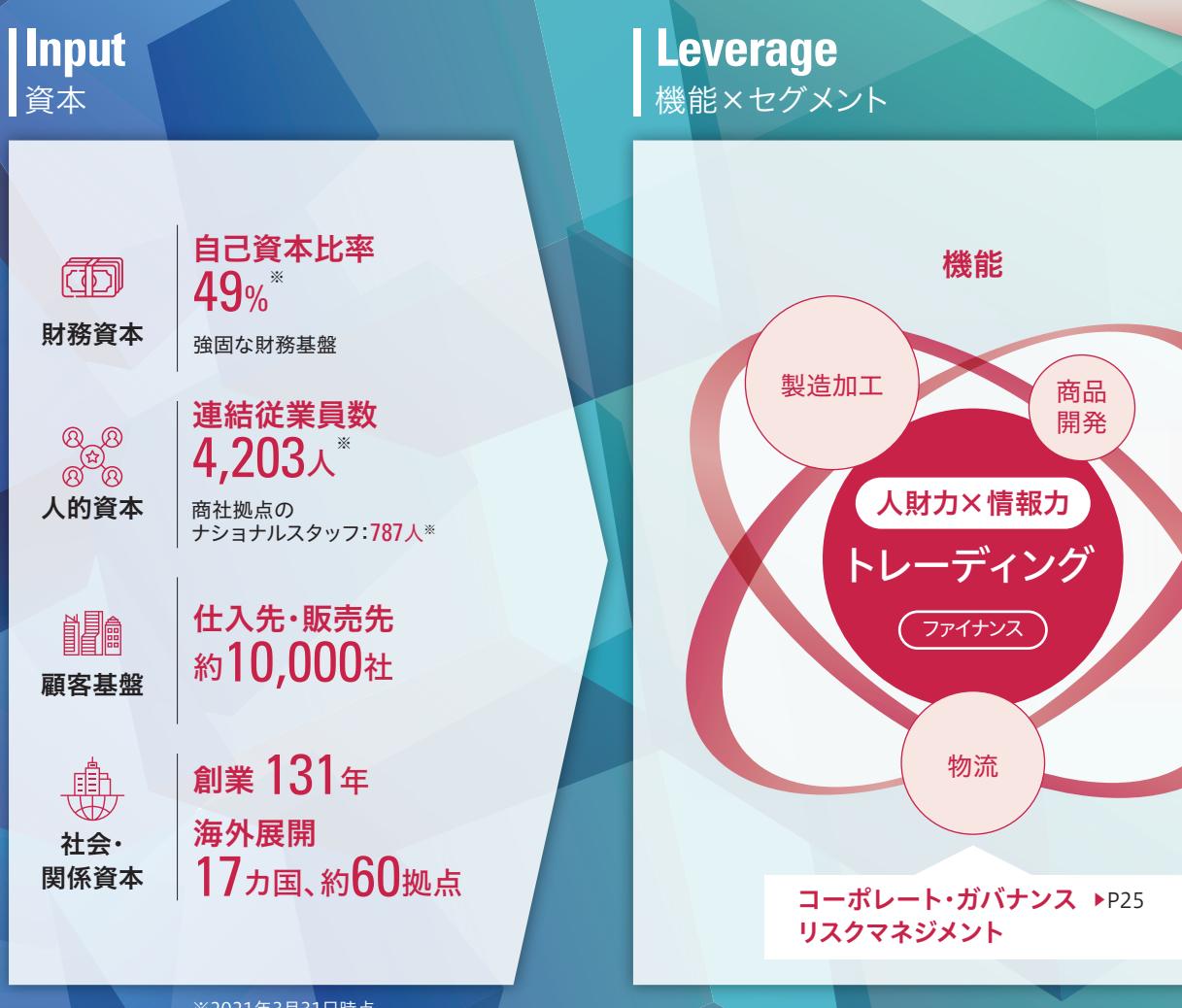
稻畑勝矢郎



## 企業紹介 價値創造プロセス

「人財力×情報力」を核にトレーディングを極め  
商社の複合機能を駆使しながら、  
新たな価値を創造します。

### 経営理念の



#### 稻畑流の「企業統治」

誠の心あってこそ  
社会の信用を  
得ることができます

金儲けは、努力して儲けるもので、決して僥倖や投機や思惑などで儲けることは考えず、地味で石橋をたたいて渡るものです。人間には誠意がなくてはいけません。依頼心を持ってはいけません。誠の心があってこそ、社会の信用を得ることができます。



創業者  
稻畑 勝太郎

顧客のグローバル化が進むなか、現地のニーズに応えるさまざまな原材料を供給し、専門性を伴うサービスを提供できるのが当社の強みです。当社の価値創造の源泉は、世界17カ国、約60拠点で働く約4,200人の「人財」と、日々の営業活動から収集される「情報」です。ケミカルをはじめとする高い専門性を有するグローバル人財が、より高度な「情報」を「製造加工」「物流」「商品開発」「ファイナンス」などの各機能と組み合わせ、情報電子・化学品・生活産業・合成樹脂の分野において、世界各地で顧客の課題解決や新たなビジネスの創出につなげています。

## 実践へ向けて



### 稻畠流の「社会共生」

“自分の専門分野を媒体として社会全体の発展に参画する”

当社は、応用化学を草創期に学んだ技術屋としての「ごまかし」を許さぬ「良心」を基本としています。

自分の専門分野を媒体として社会全体の発展に参画しようという使命感に従った行動、あるいはその精神的な土壌は、当社の信条と定義づけることができます。



4代目社長  
稻畠 勝雄

# 企業紹介 ケミカルビジネス進化の歴史と組織

1890年に染料の輸入からはじまった当社は、時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、あらゆる産業の土台となるケミカル製品の取り扱いを通して事業を拡大してきました。

1890年～

黎明期

1945年～

飛躍期

## 創業と成長の時代

染料・染織機械の輸入販売からスタートし、ケミカル分野を中心に事業を展開

## 再構築と復興の時代

戦後の混乱のなか、医薬品事業の強化とともに新たな領域へ躍進

### 創業者と染料

15歳で官費留学生としてフランスに渡った創業者は、当時最先端の合成染料や染色技術を8年間学び、日本に持ち帰ります

1897年

紡績機械(アルザス社)



1920年2月

機械部門

1941年2月

廃止

1959年4月

機械金属部門

1959年、アルザス社との取引再開で、機械金属部を新設

染料



日本染料製造㈱の染料見本

香料



樹脂・ゴム添加剤



○合資会社 稲畠香料店

1926年、香料部が分離独立し、合資会社稻畠香料店として設立  
1966年、稻畠香料に改称  
※現在、当社との資本関係はありません

1918年6月

染料部門

1918年6月

貿易部門

1933年1月～11月

医薬部門



「ボレオン錠」  
1941年  
週刊朝日  
掲載広告



殺虫剤原料

1946年10月

医薬部門



主な組織の変遷と  
主要な取扱商材開始時期

主な組織の変遷と

主要な取扱商材開始時期

主な組織の変遷と

主要な取扱商材開始時期

1984年～ 改革期

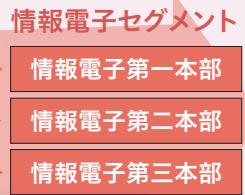
2010年～ 第4創業期

## 挑戦と試練の時代

医薬事業の分離と  
海外拠点の拡大により  
新しい価値を創造

## 進化と創造の時代

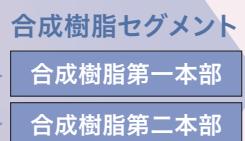
商社でありつつ、製造・  
物流・ファイナンス機能でも  
さらなる価値を有する  
ベストパートナーへ



### 化学品セグメント

化学品本部

2019年4月  
化学品本部と  
住環境本部を再編



1961年、化学品部門から合成樹脂部門独立。樹脂の種類の増加、加工法の進展に伴い、耐久消費財向け工業用にも市場拡大



# 企業紹介 海外事業拡大の歴史

当社の海外事業は、今から110年以上前まで遡ります。1908年に中国天津に支店を設立した当社は、染料の販路を開拓しました。その後、欧州にも事業を拡大し、1937年にはベルギーのブリュッセルに日本染料製造株式会社の総代理店として出張所を開設。翌1938年からは中国の奉天(現瀋陽)、上海、天津、青島、大連、濟南、さらにはバタビア(現ジャカルタ)、ハノイ、京城(現ソウル)

ル)に染料や医薬品を販売する拠点を設置し、戦前、延べ5カ国13拠点に上りました。第二次世界大戦によってすべての海外拠点を失いますが、約30年後の1976年にはシンガポールに戦後初の現地法人を開設。以来45年間、海外展開を積極的に進め、現在17カ国約60拠点のネットワークによって、連結売上高に占める海外売上高の割合が5割を超える規模に拡大しました。

## 海外売上高推移

■海外売上 ■単体売上 ※1992年3月期から連結決算開始  
※海外売上高比率は、所在地別の海外拠点における売上高が、連結売上高に占める割合です



## 戦後の海外進出の歴史

1970年代 2カ国3拠点 > 1980年代 9カ国約20拠点 > 1990年代 11カ国約40拠点

## 主な商社拠点

※写真は、オフィス入居当時のビル

### 1976 シンガポール

戦後初の  
海外営業拠点を設立  
Inabata Singapore(Pte.) Ltd.



### 1978 米国(ニューヨーク)

Inabata America  
Corp.



### 1987 タイ(バンコク)

Siam Inabata Co., Ltd.  
(現Inabata Thai Co., Ltd.)

### 1988 中国(香港)

稻畑産業(香港)有限公司



### 1988 ベルギー (ブリュッセル)

Inabata Europe S.A.  
(現Inabata Europe  
GmbH)  
※2013年ドイツに移転



### 1988 マレーシア(クアラルンプール)

Inabata Malaysia Sdn. Bhd.

### 1989 台湾(新竹)

華稻股份有限公司

## 主な製造加工拠点

### 1978 シンガポール

山陽化工株式会社と合併で樹脂コンパウンド製造のSanyo-IK Color(Pte.) Ltd.を設立  
※2013年7月Inabata Singapore(Pte.) Ltd.に合併



当社の主力事業  
である樹脂コン  
パウンド事業の  
礎となる

### 1987 タイ(サムットプラカーン)

SIK(Thailand) Ltd.

### 1989 英国(テルフォード)

IK Precision Co., Ltd.  
※2006年3月清算



### 1989 フィリピン(マニラ)

SIK Philippines Ltd.  
※2012年6月清算



### 1995 インドネシア(ブカシ)

PT. S-IK Indonesia

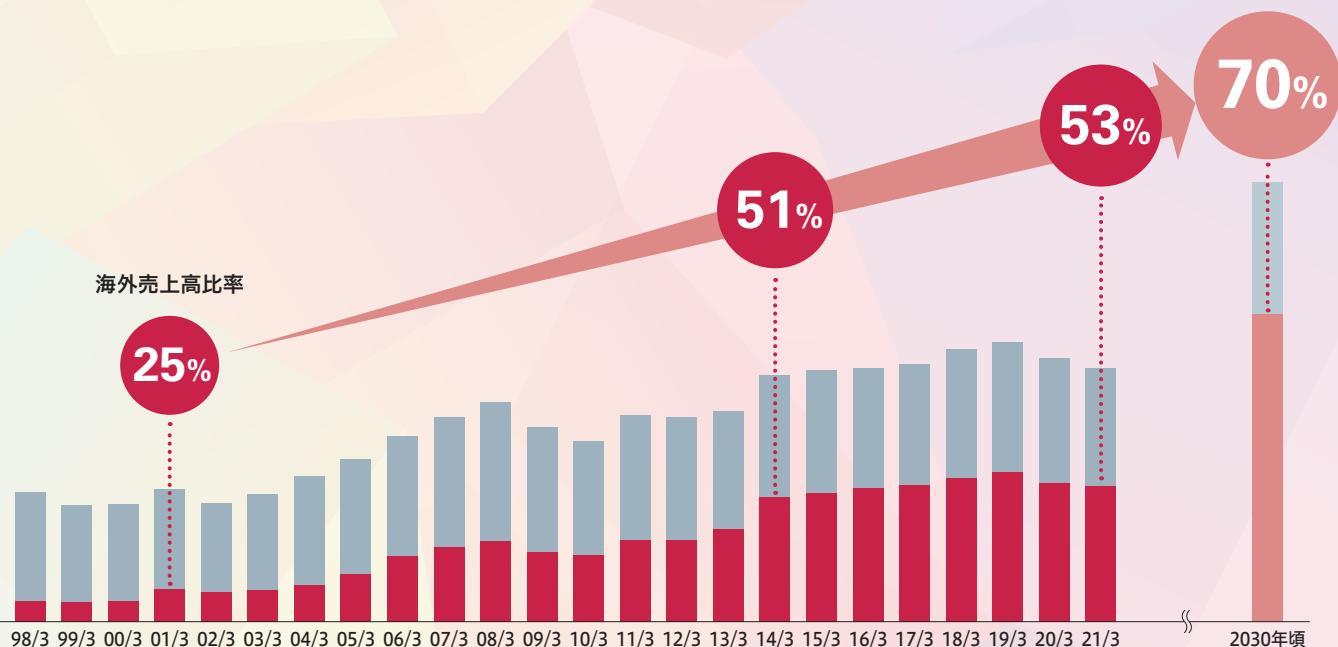
### 1995 中国(東莞)

Sanyo-IK Color(H.K) Ltd.  
※休眠中

### 2002 中国(大連)

稻畑工貿(大連保税区)  
有限公司

1994 マレーシア(ジョホール)  
SIK Color(M) Sdn. Bhd.



2000年代 15カ国 約70拠点

2010年代～現在 17カ国 約60拠点



# 事業紹介

情報電子・化学品・生活産業・合成樹脂の4セグメント、7本部で事業を展開しています。

## 情報電子セグメント

ディスプレイ部材、デジタル印刷材料、半導体材料などを収益の柱に持ちながら、その領域に留まらずに、農業、自動車、ライフサイエンスなど、新規分野にも参入しました。近年成長が期待されるIoT、再生可能エネルギー商材も実績を上げつつあります。

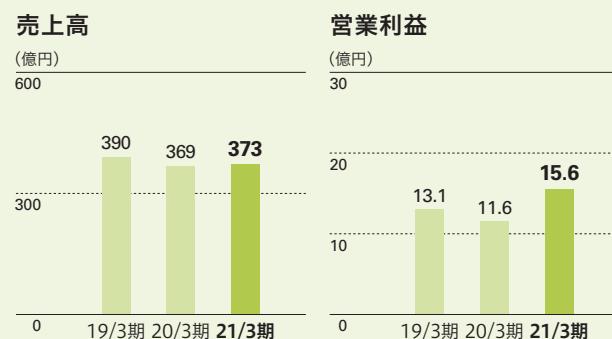
情報電子第一本部 ▶P10 情報電子第二本部 ▶P11  
情報電子第三本部 ▶P12



## 化学品セグメント

創業の染料ビジネスを源流に、あらゆる産業のプラットフォームである化学品を取り扱っています。これまでの歴史のなかで伸びゆく事業は分離独立し、新たな可能性を追求し続けています。国内市場は成熟しており、海外で活路を見出しました。2019年4月には最終製品に近い商材を取り扱っていた住環境部門を統合し、バリューチェーン全体へ最適な商材、サービスを提供しています。

化学品本部 ▶P13



## 生活産業セグメント

医薬販売事業は1984年に住友製薬株式会社(現:大日本住友製薬株式会社)に継承した後、医薬品原体の販売をメインにしました。食品はコーンスタークの食品業界への展開から取り扱いを開始しました。医薬も食品も消費者の健康で快適な生活の実現に貢献できることし、2012年、新たに生活産業セグメントとしてスタートしました。

生活産業本部 ▶P14



合成樹脂第一本部 ▶P15 合成樹脂第二本部 ▶P17

※億円未満は切り捨て



## 情報電子第一本部

### FPDを軸としながら 新ビジネス展開へ

情報電子第一本部では、液晶・有機EL(OLED)を中心としたフラットパネルディスプレイ(FPD)やLED関連ビジネスで培ったグローバルサプライチェーンを生かし、さまざまなサービスを国内外の幅広い顧客に提供しています。

競争力のある材料供給をはじめ、さまざまな加工や物流

網の構築はもとより、専門知識と情報力を基礎とするグローバルネットワークを活用した提案型ビジネスは、当本部の大きな強みです。

既存顧客とのビジネスを核としつつ、国内外の取引先との関係強化により、FPD関連だけでなく半導体や電子部品など新規分野のビジネス拡大にも注力しています。

### 事業内容

#### 第一営業部

業界で培ったネットワークを生かし、お客様の要望にジャストフィットするサービスをタイムリーに提供。

##### 取扱品目

偏光板、偏光板原料、配向膜、カラーレジスト、バックライト関連部材、OLED関連部材、ドライバーIC、不織布マスク材料など

#### 第二営業部

ディスプレイ、デバイス製造装置、LED封止樹脂、ディスプレイ部材原料など幅広く取り扱っています。自動車、半導体関連などにも注力しています。

##### 取扱品目

LED封止材、特殊テープ用原料、液晶・OLEDを中心とした関連装置



## 情報電子第二本部

### デジタル印刷・イメージング関連を中心に、商社の強みを生かして事業領域を拡大

情報電子第二本部は、インクジェット、電子写真、3Dプリンターなどのデジタル印刷やイメージング関連業界に各種原材料を販売しています。また、長い歴史のなかで培った業界での専門知識と情報力を生かし、お取引先様に対してさまざまな提案を行っています。世界各リージョンのグループ会社とグローバルに連携して、物流管理

を含む幅広いサービスを提供しています。

また、新たな領域でのビジネスにも取り組んでおり、農業分野では、農家の生産性を高めるための新たな商品・サービスの開発や、海外展開を積極的に進めています。自動車分野では加飾フィルムやTOM工法と呼ばれるユニークな加飾技術を活用したビジネスを展開しています。

### 事業内容

#### 第一営業部

電子写真業界向けにトナー原材料や周辺部材に使用される原材料を販売。3Dプリンター関連製品ならびにフィルム関連材料を販売。農業など新規分野にも進出。

##### 取扱品目

トナー原材料・現像材	樹脂、顔料、ワックス、各種添加剤 他
各種機能性材料	シリコーン製品、潤滑剤、フィルム材料、静電防止・導電性コート剤、3Dプリンター用フィラメント材料 他
農業関連	各種農業用資材、飼料原料、酪農関連資材

#### 第二営業部

インクジェット業界向けにインク原料や周辺部材に使用される原材料を販売。

##### 取扱品目

インク原料	染料、顔料、溶剤、樹脂、各種添加剤
その他	樹脂、フィルム製品、成形部材 他

#### 第三営業部

イメージング・半導体・自動車・ライフサイエンス関連の材料および設備の販売。

##### 取扱品目

光学フィルム原材料	樹脂添加剤、可塑剤、各種機能性添加剤 他
各種機能性材料	半導体原料、写真葉原料、印刷版原料、セラミック材料、高機能樹脂(樹脂加工含む)、各種中間体(受託合成含む) 他
加飾フィルム関連材料	自動車・建材・家電用各種フィルム、TOM成形機 他



## 情報電子第三本部

# 再生可能エネルギー、 IoTなど成長市場向けビジネスを強化

情報電子第三本部は、主に再生可能エネルギーや半導体・電子部品、工業用材料などの幅広いビジネスフィールドで、原料からプロセス材料、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供しています。また、海外ネットワークを活用した最適な原材料の探索やベンダー主導型在庫管理(VMI)の提案など、商社ならではの強みを生かし、お客様のニーズにきめ細かく対応しています。

成長市場向けのビジネスを強化するために、再生可能エネルギー分野では太陽電池およびリチウムイオン電池

用材料をコアに、燃料電池、水素発生装置、風力発電機、バイオマス発電装置および燃料など、商材の幅を広げています。さらに、拡大するIoT市場において、LPWA (Low-Power Wide-Area Network) 無線通信技術を活用し、各種IoTサービス構築を進めています。これからも“お客様の課題を解決するソリューションプロバイダー”的役割を果たすため、専門知識とスキルを有する人財の育成とグローバルネットワークの強化に努めています。

## 事業内容

### 第一営業部 各種工業製品の販売。

#### 取扱品目

##### 各種工業・電子・光学材料分野

機能性フィルム(工業・電子・光学用)、テープおよびテープ材料、(基材、ライナー、各種ケミカル)、シリコーン(粘着剤、剥離剤、白金触媒)、衛生用品材料(不織布等)、フッ素樹脂、蓄光材料、透明ポリイミド原料、スマートカード材料、3Dセンサー、センサー材料、産業用ロボット、無線充電モジュール、5G関連材料、ペーパー捺染

### 第二営業部 半導体関連材料、電子デバイス関連材料、各種工業材料の販売。

#### 取扱品目

##### 半導体・電子部品関連

マスクブランクス(半導体、FPDのフォトマスク原版)、ベリクル(フォトマスクの異物混入防止バー)、化合物半導体ウエハー、半導体用反射防止コーティング材(BARC)、半導体封止材およびその材料、ダイシングテープ、半導体ウエハーコート材、高純度アルミナ、バイヤーアルミナ、各種センサー材料

プロセス装置用部品 サセプター

### 第三営業部

創エネルギー、蓄エネルギー、省エネルギーなど各種エネルギー分野における製品、材料および環境資材の販売。

#### 取扱品目

##### 創エネルギー分野

太陽光システム関連(パネル、パワコン、各種架台)、太陽電池材料(銀ペースト、封止材)、風力発電システム関連(小型風力発電機・パワコン)、水素エネルギー関連(AEM水素製造装置・燃料電池)、バイオマス発電関連(バイオマス発電装置、バイオマス燃料)

##### 蓄エネルギー分野

リチウムイオン電池材料、電池製造装置、キャパシタ材料

##### 省エネルギー分野

コンテナ型マイクロデータセンター、省電力ストレージサーバー、各種IoTシステム

##### 環境資材分野

モーター・ジェネレーター用部品、インバーター・コンバーター用部品、農業用フッ素樹脂フィルム、高生分解性電気絶縁油



## 化学品本部

# 化学品原料を中心に工業品原料用途から車両、住環境用途に至るまで幅広く展開

化学品本部は、商社でありながら製造・加工拠点を持つ当社ならではのアドバンテージを生かしつつ、バリューチェーンの上流から中流を担う化学品3部と、最終製品に近い下流を担う建材部がシナジーを発揮し、お客様に最適な商材・サービスを提案しています。

化学部門は、合成樹脂、ウレタン、繊維などの石油化学関連産業に対する原料・中間物の販売をメインとする「スペシャリティケミカル部」、塗料、インキ、接着剤を三本柱

に添加剤や溶剤など幅広い原材料を供給する「パフォーマンスケミカル部」、自動車を中心に船舶や航空機で使われる摩擦材・ガスケット・タイヤ原料、放熱材などを販売する「モビリティケミカル部」から成り立っています。また、建材部門はハウスメーカー・建材・住設材メーカーが必要とする環境に配慮した建材、パーティクルボード、木材、住設機器、プラスチック製品やその原料などを「建材部」で取り扱っています。

## 事業内容

### スペシャリティケミカル部

合成樹脂、ウレタン、合成繊維、ファインケミカル関連等の各業界での原料・中間物の販売および受託合成、加工。環境に配慮したBCP調達のサポート。製紙・ダンボール用原料ならびに情報記録紙用原料の供給。

#### 取扱品目

合成樹脂原料、合成繊維原料、触媒、酸化防止剤、紫外線吸収剤、溶媒、重合開始剤、機能性樹脂、ヘルスケア関連、情報記録紙用原料、ポリウレタン原料、パイプライン全般製品、インフラ・土木関連の材料等

### パフォーマンスケミカル部

塗料、インキ、接着剤の各業界向けに各種樹脂やコーティング原材料を幅広く提供。

#### 取扱品目

樹脂、樹脂原料、消泡剤、防汚剤、粘性調整剤、顔料等

### モビリティケミカル部

自動車部品用原料・化学品の販売。

#### 取扱品目

EV用放熱材および原料、摩擦材・ガスケット・タイヤ原料、エアバッグ原料、車載ディスプレイ部品関連

### 建材部

住宅・建材・住設機器メーカー向けに、原材料から製品までを幅広く販売。集成材メーカーへの原材料輸入販売と海外マーケットへの製品輸出販売。

#### 取扱品目

パーティクルボード(繊維板)、内装建材、外装建材、水回り製品、木質ボード用接着剤、樹脂成型品等

#### 輸入商材

集成材原材料、LVL、木質系チップ等

#### 輸出商材

ウッドプラスチック複合デッキおよび外装材、住設機器向け樹脂材等



## 生活産業本部

# 健康で快適な生活の実現に向けて 食とライフサイエンスの事業を展開

生活産業本部は、主に医農薬、防虫・殺虫剤や芳香・消臭剤などの原料を取り扱う「ライフサイエンスビジネス」と、農産物・水産物を取り扱う「食品ビジネス」を展開しています。

ライフサイエンスビジネスは、海外拠点での医農薬原料・中間体の製造をはじめ、先端医療用装置・材料の調達、有機合成受託サービス、医薬品物流サービス、さらには家庭用品の企画開発までトータルソリューションを提供しています。

食品ビジネスでは、安心・安全な農産物・水産物を世界中から輸入・販売するだけでなく、北海道のブルーベリー栽培やベトナムの水産品加工などにも取り組み、川上から川下まで幅広い分野でビジネスを展開しています。

また、当本部ではグローバルビジネスの強化にも注力しております、日用品やPB品などの最終製品を輸出入しています。加えて、海苔、ワサビなど、日本食材の海外展開や三国間取引を進めています。

## 事業内容

### ライフサイエンス部

ライフサイエンス分野のさまざまなシーンにおいて、日用品から医薬品までグローバルに原料調達をサポート。また、各種製品のサプライチェーン構築にトータルソリューションを提供。

#### 取扱品目

医薬品・先端／  
再生医療・  
化学品業界 医薬品原体・中間体、再生医療用機器・プロセス材料、化学合成用特殊試薬、触媒、その他ファインケミカル原料

防虫・殺虫剤業界 防・殺虫剤用原体、溶剤、その他ファインケミカル原料

ホーム・  
プロダクツ業界 日用品原料、化粧品原料、機能性食品・健康飲料、その他ファインケミカル原料

### 食品部

「顔の見える生産者から顔の見える消費者へ」をモットーに、安心・安全な農産物、水産物を世界中から提供。北海道でのブルーベリー栽培や、ベトナムでの水産品加工など、川上から川下まで、幅広い分野・地域で新規ビジネスを創出。

#### 取扱品目

農産物 ブルーベリー、マンゴー、ブドウ、イチゴなどの冷凍果実、およびホウレンソウ、ブロッコリー、カボチャ、ゴボウなどの冷凍野菜

水産物 切り身魚、海老、蟹、貝類、イカ、しらす、ワカメ等



## 合成樹脂第一本部

### 独創性豊かなパートナーとして お客様と共に発展

合成樹脂第一部では、成型材第一部と第二部で生活用品や建材・土木向けの汎用樹脂、機能樹脂部で家電・OA機器、電気・電子向けの高機能樹脂や関連資材、自動車材料第一部と第二部で自動車や自動二輪向けの高機能樹脂を取り扱っています。

アジアの6カ国とメキシコの計7カ所で樹脂コンパウンド工場を運営し、材料の選定から加工に至るトータルなサービスを提供しています。海外拠点には合成樹脂のスペシャリストを配置するほか、現地スタッフをマネージャーに登用するなど、現地で人財を育成することで情報力の向上を図っています。また海外で自社倉庫を構

え、物流機能拡充にも取り組んでいます。このように海外拠点を強化することで、お客様の工場の海外移転や現地生産化にもきめ細やかに対応。樹脂コンパウンド以外にもグループの強みである優れた開発力や特殊技術を生かし、国内外の製造拠点や加工技術のさらなる強化・拡充を図りながら、合弁事業や異業種間のコラボレーションにも取り組んでいきます。

今後もさらに高度な専門知識を有する人財を育成し、環境保全や安全性などの課題解決に貢献する製品・サービスを提供し、お客様と共に発展できる独創性豊かなパートナーであり続けたいと考えています。

### 事業内容

#### 成型材第一部・第二部

国内外において、建材、土木、生活用品、自動車、電材、食品容器、医療などさまざまな業界へ合成樹脂、各種加工品、機械設備を販売。

##### 取扱品目

塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤、汎用樹脂(オレフィン系、スチレン系、PET樹脂)、各種コンパウンド、各種エラストマー、エンジニアリングプラスチック、合成ゴム、樹脂製品(異形押出品、フィルム・シート、包装材)、機械設備

#### 機能樹脂部

OA、家電、電気・電子マーケットを中心にグローバルな樹脂材料の最適調達を提案。顧客とサプライヤー間のコーディネーターとしての役割を担い、海外進出されるお客様には、マーケット調査、労務、法務などの情報を提供。

##### 取扱品目

汎用樹脂からスーパーエンジニアリングプラスチックまで、成型機・付帯設備、レーザー溶着機、特殊成型加工品および関連部材、リサイクル材

#### 自動車材料第一部・第二部

車両マーケットを中心に、樹脂材料および物流ソリューションの提案、さらには製造設備のファイナンスサポートまで複合的な営業活動を展開。

##### 取扱品目

汎用樹脂からスーパーエンジニアリングプラスチックまで、成型機・付帯設備、レーザー溶着機、放熱関連製品、特殊成型加工品

#### 事業開発部

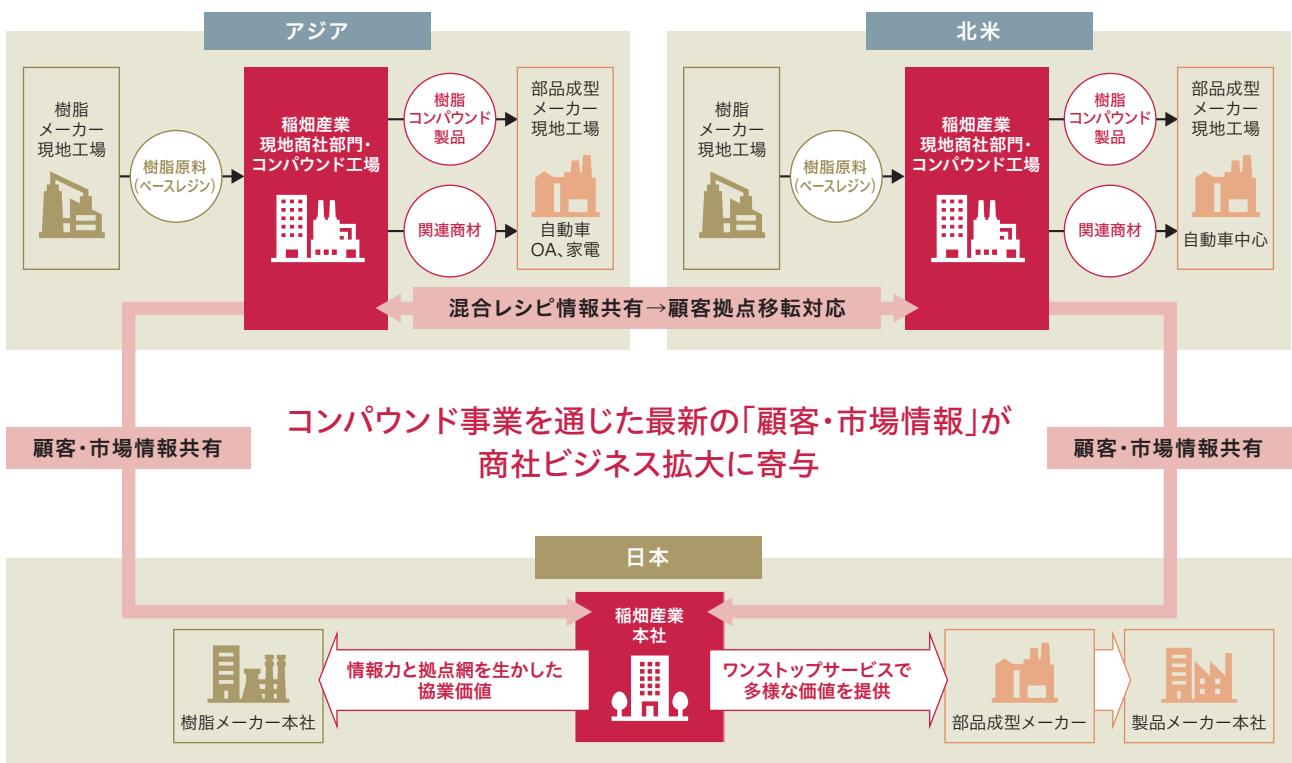
専門知識やノウハウを生かし、素材の提案から特殊成型技術、加工、製品に至るまでの「ものづくり」をサポート。

##### 取扱品目

異種材料接合技術、アルミ「インパクト工法」製品、CNF(セルロースナノファイバー)+樹脂複合材料、生分解性プラスチック、バイオマスプラスチック、マスク用・工業用不織布、成型機・混合機など各種機械、廃棄物処理合理化支援

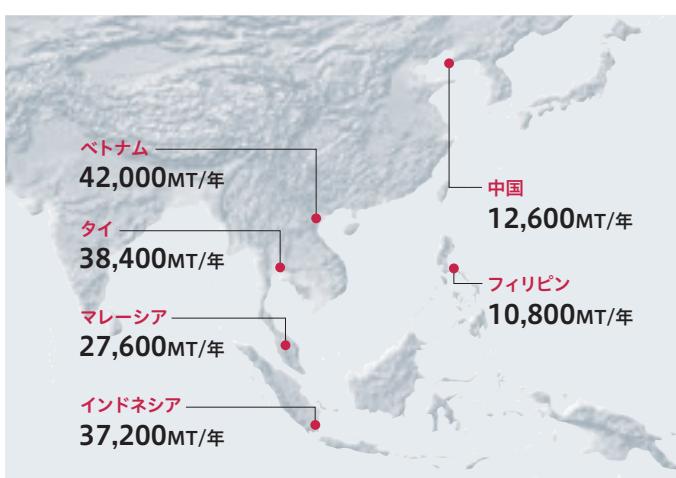


## 樹脂コンパウンドビジネス



## 樹脂コンパウンドの年間生産能力

※2021年7月1日現在



7カ国で計7工場を展開 合計年間生産量: 183,600MT/年



## 合成樹脂第二本部

### フィルム・シートに関する トータルソリューションを提供

合成樹脂第二本部は、フィルム・シートに関する企画立案から素材選定、製造加工を行うほか、最終製品、およびパッケージングに関する企画などを提案しています。その取り扱い分野は、ポリエチレン樹脂やフィルム製品などの産業資材、加工用フィルム、ラミネート製品、シート用樹脂原料および成形品、スポーツ資材など多岐にわたります。

国内に製造子会社3社と販売子会社1社を持ち、海外においてもタイ、インドネシア、ベトナムに製造工場を保有

するなど、商社という枠を超えて原材料から成形まで一貫した体制を整えていることが当社の強みです。

今後も、フィルム業界における“総合パッケージングプランナー”として、日本が誇る高品質フィルム製品の海外展開を図っていくとともに、国内加工メーカーの海外進出もサポートしていきます。また海外で、日本と同等の品質レベルのフィルム製品を発掘し、日本に輸入するという新たなビジネスを視野に入れています。

## 事業内容

### 産業材部

国産・輸入各種ポリオレfin樹脂、フィルム製品、不織布製品の販売、再生樹脂および製品の製造販売。

#### 取扱品目

国産・輸入ポリオレfin樹脂（LLDPE、HDPE、LDPE、再生樹脂）  
PE フィルム製品（国産・輸入の PE 袋・フィルム、およびそのリサイクル品）  
不織布、抗ウイルスフィルム等各種衛生関連商材

### フィルム・機能材部

各種プラスチックフィルム（包装材料、工業用）の販売。  
フィルム加工製品の販売。

#### 取扱品目

国内・海外ラミネート用フィルム  
ラミネート製品  
国内・海外工業材料用フィルム  
環境プラスチック原材料

### シート・成形材部

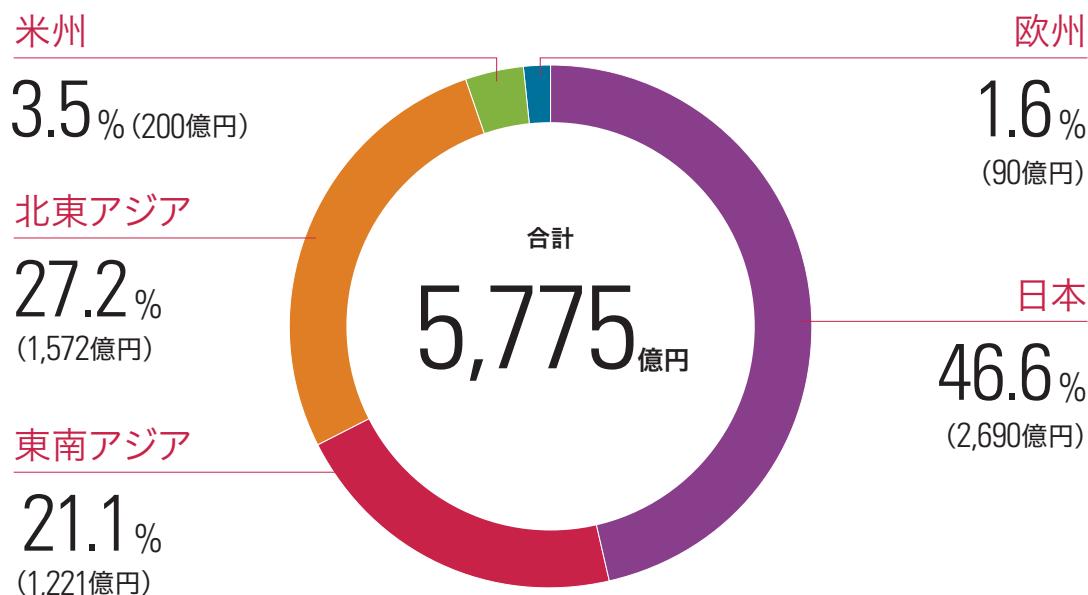
各種シートの原料から成形品までの販売。  
スポーツ資材の材料、製品の販売。

#### 取扱品目

シート用樹脂（PP、PS、PET）  
各種樹脂シート、成形品（PP、PS、PET）  
スポーツ関連（テニス・バドミントン・野球用オーバーグリップ、  
テニスラケット用振動吸収材他、スポーツアクセサリー全般）

# エリア別拠点紹介

所在地別 2021年3月期売上高構成比

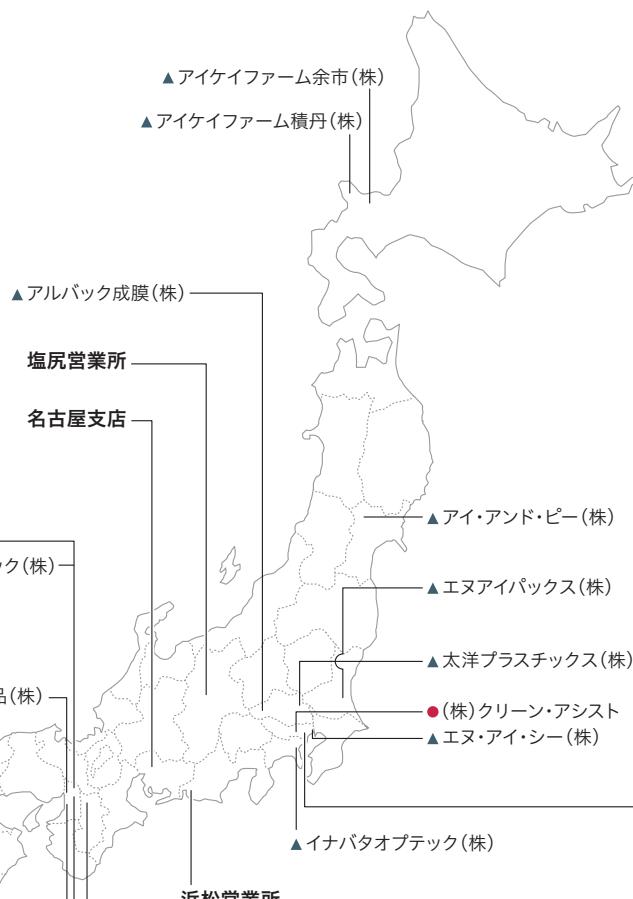


## 日本

●商社拠点 ▲製造加工拠点



大阪本社



東京本社

九州営業所  
(霧島市)

## 東南アジア/インド

売上高 1,221 億円 営業利益 37 億円  
連結従業員 2,473 人

域内に10の製造加工拠点を有し、各事業におけるビジネス拡大に注力しています。



執行役員  
東南アジア総支配人  
河合 紳也

東南アジア地域では、主力事業である樹脂コンパウンド加工拠点が集中する重要地域で、電気・電子、OA、自動車・二輪の主力3分野を中心に合成樹脂製品を9カ国28拠点で展開しています。今後、東南アジアで成長著しい自動車分野向け事業を伸ばす一方、環境負荷低減商材や太陽光などのエネルギー関連、農業、食品分野など、新規商材の開発にも注力していきます。

### 主要事業

- 自動車、家電、OA機器分野向けの合成樹脂
- プリンター関連原料
- 自動車関連業界向けゴム原料や添加剤
- 包装関連向け原料および製品

### Action

#### バイオマス原料の供給

中期経営計画の重点施策「環境負荷低減商材の拡充」の一貫として、日本の電力会社向け発電燃料用のバイオマス原料の取り扱いをスタート。また、タイに保有している樹脂コンパウンド機能や、国内外のグループ会社の製造加工機能を連携させ、バイオマス原料配合のごみ袋を開発しました。樹脂製品を扱う商社として、今後も環境に配慮した商材を展開していきます。

### 拠点



## 北東アジア

売上高 1,572 億円 営業利益 26 億円  
連結従業員 461 人

中国、台湾、韓国の19都市を結ぶネットワークを生かし、稻畑産業の中核事業を発展させています。



執行役員  
北東アジア総支配人  
花木 和宏

連結売上高の27%を占める中核地域として、中国や台湾、韓国19都市のネットワークを生かした事業を展開しています。主にフラットパネルディスプレイ関連部材をはじめ、自動車、OA、電気・電子向けの合成樹脂に注力。今後さらに収益拡大を期待できる中国ビジネスにおいては、半導体、5G関連、センサー、ロボットなど成長分野である経営資源を積極的に展開していきます。

### 主要事業

- 自動車、OA機器分野向けの合成樹脂
- フラットパネルディスプレイ関連部材
- 環境規制に対応した機能化学品

### Action

#### 新興国の物流インフラを整える

IoT技術の急速な普及に伴い、DXが各分野で加速している中、次世代LPWA技術であるZETA<sup>※</sup>規格が脚光を浴びています。稻畑香港は2021年3月に、ZETA関連製品や技術、ソリューション提供のグローバル展開を目的として、テクサー社、ZiFi Sense社と業務提携しました。  
※ZETAは、ZiFi Sense社が開発したIoTに適した最新のLPWA(Low-Power Wide-Area Network)ネットワークの規格

### 拠点



## 米州

売上高	200 億円	営業利益	4 億円
連結従業員	268 人		

米国、メキシコでの展開に加え、ブラジルを中心とした南米事業の拡大に取り組んでいます。

主力分野である自動車、エネルギー、食品、医薬分野で事業を展開。なかでも電子材料、デジタル印刷材料、機能化学品を中心に取り扱っています。メキシコでは自動車分野向けの合成樹脂販売に加え、家電や航空産業にも進出するなど、中南米への合成樹脂ビジネスの拡大をテーマとしています。ブラジルでは、自動車・二輪向けの合成樹脂や、機能化学品の販売に注力していきます。

### 主要事業

- 電子材料(半導体含む)
- デジタル印刷材料(インクジェット、トナー)
- 自動車分野向けの合成樹脂
- エネルギー関連部材
- 機能化学品
- 農産、水産加工品
- 医薬品原料

### Action

#### 米国での加工食品事業

2020年4月に、グループ会社であるDNI社に北米食品事業を統合。伸長する米国市場に向けて従来の水産加工品の売上を伸ばしつつ、農産加工品の拡販や新規商品の開発に注力していきます。

### 拠点



## 欧州

売上高	90 億円	営業利益	10 億円
連結従業員	66 人		

化学品、エネルギー、自動車、ライフサイエンスなど独自の機動力を生かした事業を展開しています。

欧州地域では、インクジェット原料、エネルギー関連商材、自動車分野向け部材、機能性化学品など、各セグメントの製品を幅広く取り扱っています。フランスでは、グループ会社で医薬品・化粧品原料などを製造、販売しています。今後、EV用電池分野で放熱材原料の販売や化粧品分野向けの植物由来原料の開発など、環境分野での事業展開にも注力していきます。

### 主要事業

- インクジェット関連商材
- 医薬品、化粧品原料
- 2次電池向け各種材料
- 機能化学品

### Action

#### 医薬品・化粧品分野向けの商品開発

グループ会社のPharmasynthese S.A.Sでは、医薬品・化粧品原料等の製造、医薬分野では、アレルギー薬の開発に取り組んでいます。化粧品分野では、保湿、抗酸化、アトピー緩和などに効用のある植物由来原料を今後上市していく予定です。

### 拠点

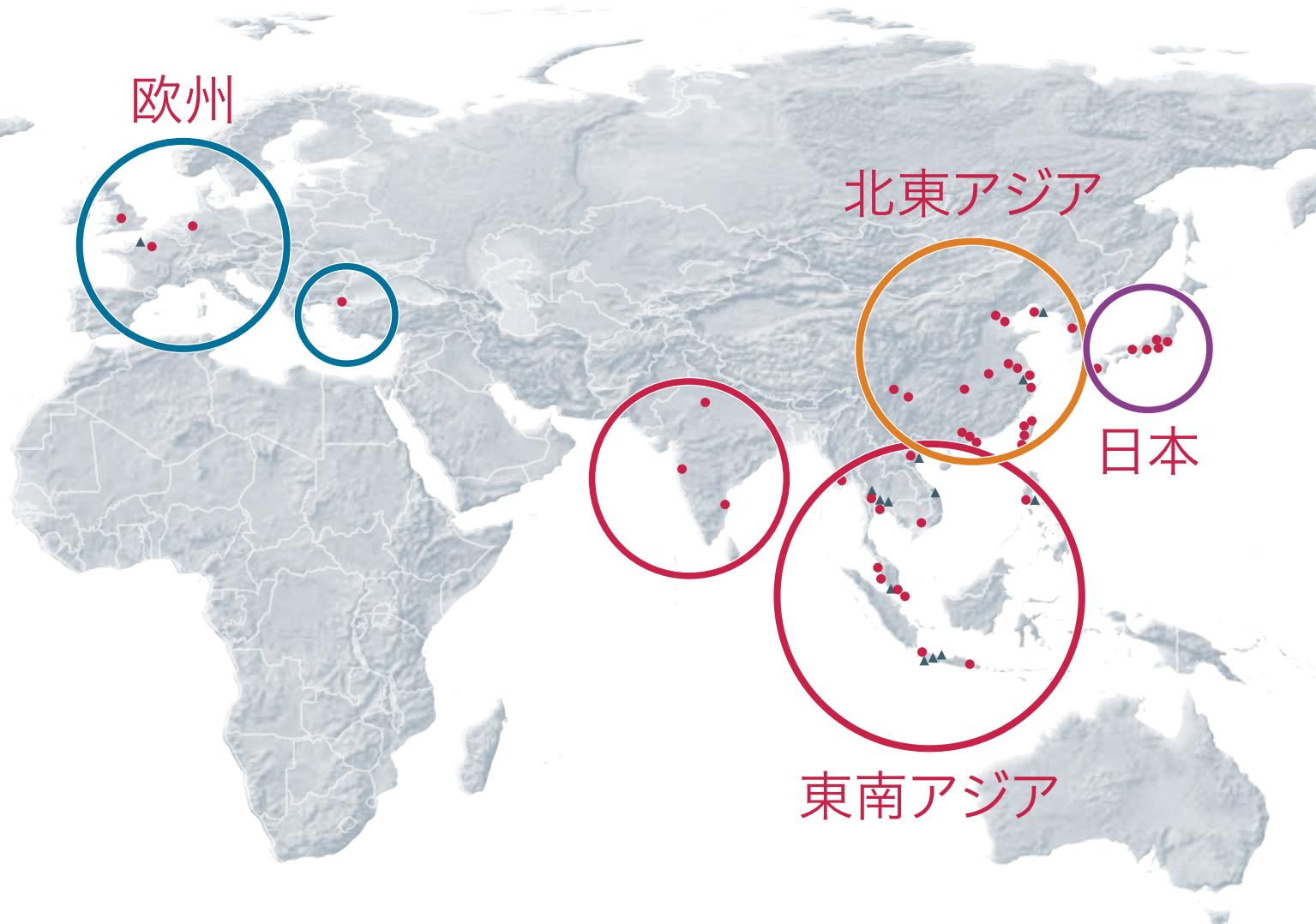


※売上高と営業利益は21/3期、連結従業員は2021年3月31日現在

## グローバルネットワーク

海外17カ国・約60拠点に拡がる  
稻畑産業のネットワーク

●商社拠点 ▲製造加工拠点

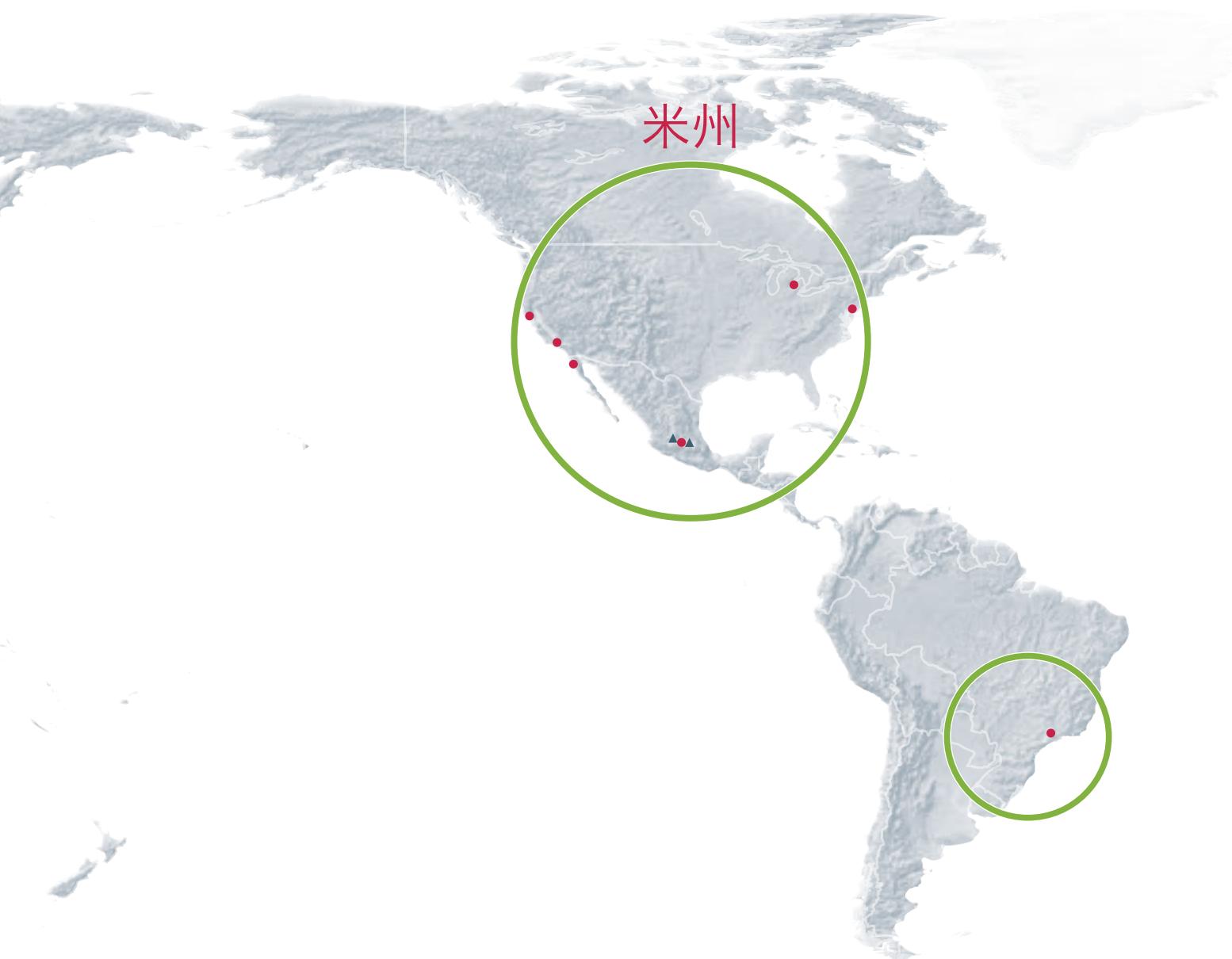


### 欧州

ドイツ	デュッセルドルフ
フランス	ヴィシー(パリ近郊) ノルマンディー
英国	テルフォード (バーミンガム近郊)
トルコ	イスタンブル

### 東南アジア／インド

シンガポール	タイ	バンコク
マレーシア	ペナン、ジョホール	サムットプラカーン (バンコク近郊)
インドネシア	ジャカルタ、スラバヤ ブルカシ(ジャカルタ近郊)	アユタヤ シラチャ (レムチャバン近郊)
フィリピン	ビニヤン(マニラ近郊)	ミャンマー ヤンゴン
ベトナム	ハノイ、ホーチミン ハイフォン、ダナン	インド グルグラム(デリー近郊) チェンナイ、プネ



### 北東アジア

中国 ..... 香港、上海、無錫、寧波  
成都、南京、合肥、重慶  
北京、大連、天津、廣州  
武漢、深圳

台湾 ..... 新竹、台南、台中、台北

韓国 ..... ソウル

### 日本

東京、大阪、名古屋  
塩尻、浜松、霧島

### 米州

米国 ..... ニューヨーク  
ロサンゼルス  
デトロイト  
ノバト  
(カリフォルニア州)

メキシコ ..... ケレタロ、ティファナ  
シラオ

ブラジル ..... サンパウロ

# 主要連結子会社および関連会社

## 主要な連結子会社

●商社拠点 ▲製造加工拠点

会社名	所在地	主要事業	
<b>日本</b>			
▲ アイ・アンド・ピー(株)	日本	宮城県大崎市	合成樹脂の成型加工
▲ (株)一光園	日本	大阪府堺市	水産物等の加工販売
● 稲畑ファインテック(株)	日本	大阪市中央区	化学品等の販売
▲ エヌ・アイ・シー(株)	日本	東京都葛飾区	プラスチックフィルム製品の加工販売
● オルディ(株)	日本	大阪市中央区	プラスチックフィルム製品・梱包資材の加工 および付帯機器、システムの設計販売
▲ 関西高分子工業(株)	日本	奈良県大和郡山市	プラスチックフィルムの製造
▲ 太洋プラスチックス(株)	日本	埼玉県蓮田市	プラスチックフィルムの製造
<b>東南アジア／インド</b>			
● Inabata India Private Ltd.	インド	グルグラム(デリー近郊)	合成樹脂、電子材料、 化学品等の輸出入、販売
▲ PT. IK Precision Indonesia	インドネシア	ブカシ(ジャカルタ近郊)	合成樹脂の成型加工
▲ PT. Inabata Creation Indonesia	インドネシア	ブカシ(ジャカルタ近郊)	グリップテープの加工
● PT. Inabata Indonesia	インドネシア	ジャカルタ	合成樹脂、化学品等の輸出入、販売
▲ PT. S-IK Indonesia	インドネシア	ブカシ(ジャカルタ近郊)	樹脂コンパウンド
● Inabata Malaysia Sdn. Bhd.	マレーシア	クアラルンプール	合成樹脂等の輸出入、販売
▲ SIK Color(M) Sdn. Bhd.	マレーシア	ジョホール	樹脂コンパウンド
▲ IK Plastic Compound Phils. Inc.	フィリピン	ビニヤン(マニラ近郊)	樹脂コンパウンド
● Inabata Philippines, Inc.	フィリピン	ビニヤン(マニラ近郊)	合成樹脂等の販売
● Inabata Singapore(Pte.) Ltd.	シンガポール	シンガポール	合成樹脂、化学品、 情報電子関連の輸出入、販売
▲ Apple Film Co., Ltd.	タイ	サムットプラカーン (バンコク近郊)	プラスチックフィルムの製造
▲ Hi-Tech Rubber Products Co., Ltd.	タイ	アユタヤ	各種ゴム成型品の製造
● Inabata Thai Co., Ltd.	タイ	バンコク	合成樹脂、化学品、食品、 機械等の輸出入、販売
▲ SIK(Thailand) Ltd.	タイ	サムットプラカーン (バンコク近郊)	樹脂コンパウンド
▲ Apple Film Da Nang Co., Ltd.	ベトナム	ダナン	プラスチックフィルムの製造
● Inabata Vietnam Co., Ltd.	ベトナム	ハノイ	合成樹脂、電子材料、 化学品等の輸出入、販売
▲ SIK Vietnam Co., Ltd.	ベトナム	ハイフォン	樹脂コンパウンド
<b>北東アジア</b>			
●▲ 稲畑工貿(大連保税区)有限公司	中国	大連	樹脂コンパウンドおよび合成樹脂、 化学品等の輸出入、販売
● 稲畑産業(香港)有限公司	中国	香港	合成樹脂、機械、電子材料、 化学品等の輸出入、販売
● 広州稻畑産業貿易有限公司	中国	広州	合成樹脂、機械、電子材料、 化学品等の輸出入、販売

会社名	所在地	主要事業	
● 上海稻畑産業貿易有限公司	中国 上海	合成樹脂、化学品等の輸出入、販売	
▲ 上海稻畑精細化工有限公司	中国 上海	塗料原料の加工	
● Inabata Korea & Co., Ltd.	韓国 ソウル	電子材料等の輸出入、販売	
● 華稻股份有限公司	台湾 新竹	電子材料、半導体関連機器、化学品等の輸出入、販売	

#### 米州

▲ IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.	メキシコ シラオ	樹脂コンパウンド
● Inabata Mexico, S.A. de C.V.	メキシコ ケレタロ	合成樹脂等の販売
▲ NH Inabata, S. de R.L. de C.V.	メキシコ ケレタロ	クレーンの設計、施工販売
● DNI Group, LLC	米国 ノバト(カリフォルニア州)	食品の輸出入、販売
● Inabata America Corp.	米国 ニューヨーク	合成樹脂、情報電子関連材料、化学品等の輸出入、販売

#### 欧州

● Inabata France S.A.S.	フランス ヴィスー(パリ近郊)	化学品の輸出入、販売
▲ Pharmasynthese S.A.S.	フランス ノルマンディー	医薬品・化粧品原料、精密化学品の製造
● Inabata Europe GmbH	ドイツ デュッセルドルフ	電子材料、化学品、合成樹脂等の輸出入、販売
● Inabata UK Ltd.	英国 テルフォード (バーミンガム近郊)	不動産賃貸管理および倉庫業

### 主要な持分法適用会社

会社名	所在地	主要事業	
▲ アルバック成膜(株)	日本 埼玉県秩父市	電子工業・光学工業用材料部品の製造	
▲ エヌアイパックス(株)	日本 茨城県稲敷市	パッケージの印刷・成型	
● (株)クリーン・アシスト	日本 東京都新宿区	合成樹脂製品および雑貨品の販売	
● 丸石化学品(株)	日本 大阪市西区	化学品等の販売	

### その他主要な関係会社

会社名	所在地	主要事業	
<b>日本</b>			
▲ アイケイファーム積丹(株)	日本 北海道積丹郡	農産物の生産、販売	
▲ アイケイファーム余市(株)	日本 北海道余市郡	農産物の生産、販売	
▲ イナバタオブテック(株)	日本 神奈川県川崎市	光半導体封止樹脂に関する研究、開発	
<b>北東アジア</b>			
● 天津稻畑産業国際貿易有限公司	中国 天津	合成樹脂、電子材料、化学品等の輸出入、販売	
<b>米州</b>			
● Inabata Brasil Importação e Exportação Ltda.	ブラジル サンパウロ	化学品、合成樹脂等の販売	

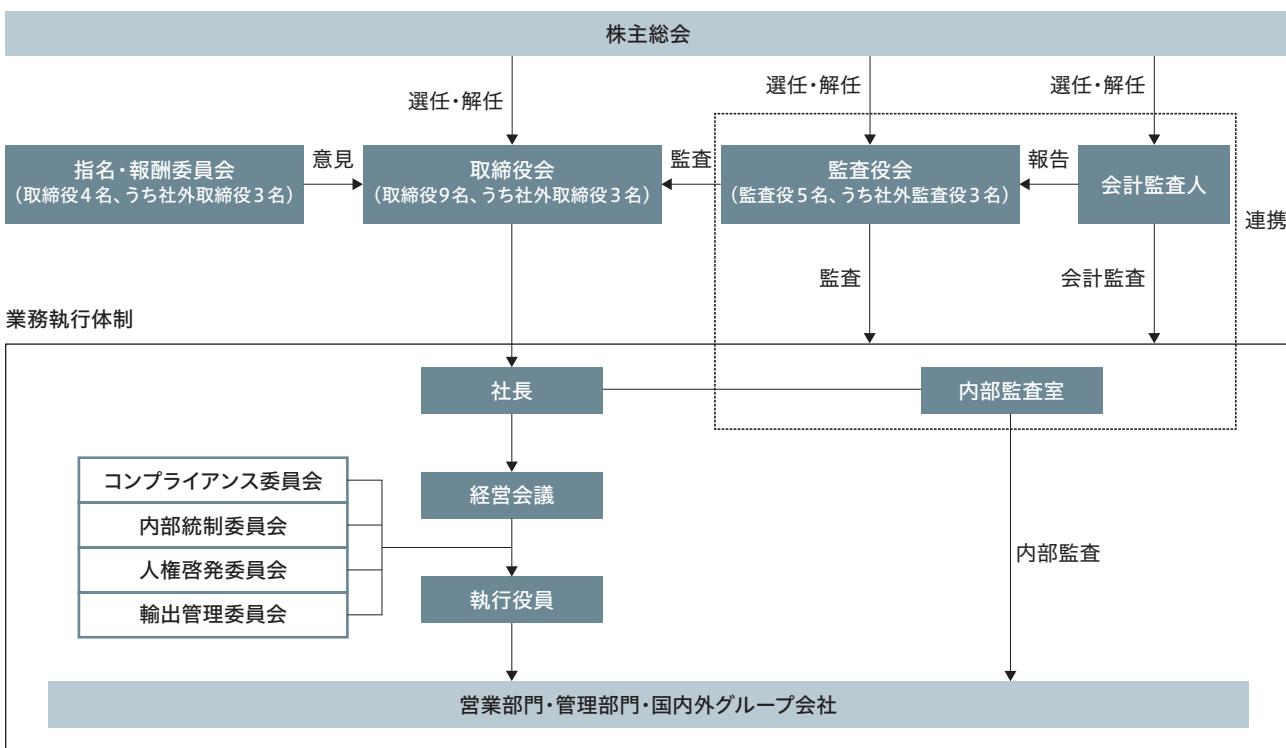
# コーポレート・ガバナンス

## 基本的な考え方

当社は、「『愛』『敬』の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献する」を経営理念としています。この経営理念のもと、株主、取引先、社員に加え、企業活動を支えるすべてのステークホルダーの負託に応え、持続的に

企業価値を向上させるためには、経営の透明性・公平性を確保し、迅速・果断な意思決定をおこなう基盤となる強固なコーポレート・ガバナンス体制の整備・構築が不可欠と考えています。

## コーポレート・ガバナンス体制図



## 指名・報酬委員会

2015年より、任意の指名・報酬委員会を設置しています。経営幹部の選解任、取締役・監査役・執行役員候補の指名、取締役の報酬などを決議するにあたっては、独立社外取締役が過半数を占める指名・報酬委員会の審議を経ています。取締役会は指名・報酬委員会の審議結果を十分尊重することにより、客観性、公正性、透明性を確保するよう努めています。

## 経営会議・審査会議

業務執行機関としては、経営会議を設置し、会社の経営に関する基本方針並びに経営上の重要事項について審議し、その方向性を決定しています。加えて、重要な業務執行や投融資案件に関する審査機関として、審査会議を設けています。審査会議では、関係者は国内外から参加し、経営者と直接議論をします。

# 社会

## 日仏交流



創業者・稻畠勝太郎が19世紀後半にフランスに留学し、合成染料などの当時の先端技術を学んで以来、当社は日仏文化交流に尽力してきました。1927年当時の仏大使ポール・クローデルと勝太郎らの尽力により、関西日仏学館(現・アンスティチュ・フランセ関西-京都)が設立され、現在もフランス語講座や両国の文化交流イベントが開催されています。また、1952年に2代目社長稻畠太郎らが発起人となり大阪日仏協会を設立、現在も両国の友好親善の促進を図っています。



2021年3月、稻畠社長がレジオン・ドヌール勲章受章  
大阪日仏協会会长職を務め、日仏交流の功績が認められました

## 日葡交流



ポルトガルとの関係は、1920年に創業者が京都駐在ポルトガル副領事に任命されたことにはじまります。1932年には稻畠太郎(2代目社長)が在大阪ポルトガル名誉副領事に就任しました。元相談役の稻畠勝雄は1973年以降に同名誉領事を務めました。また、1993年日葡両国における友好450周年を契機に両国の交流史に思いを致し、1994年に大阪日本ポルトガル協会を設立し会長職を務めました。現在は現社長の稻畠勝太郎(6代目社長)が会長職を引き継ぎ、両国の文化交流促進に取り組んでいます。



# 環境

## 環境に関する基本的な考え方

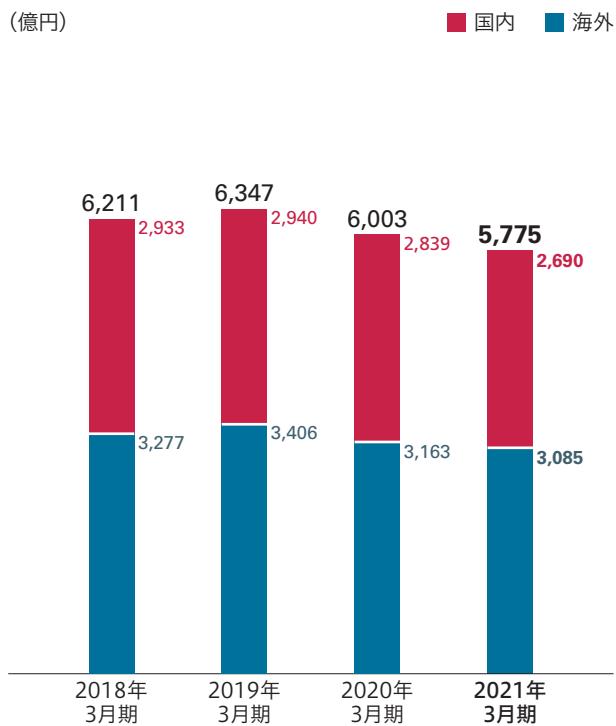
当社は、事業活動を通じて社会・経済の発展に貢献するとともに、地球環境の保全に努めることを「稻畠産業コンプライアンス宣言」で表明しています。環境リスクは、経営環境に影響を及ぼす重要なファクターであり、当社グループの持続的な発展のためにも、事業を通じて取り組むべき課題です。当社は2000年に、環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001の認証を取得しています。

## 事業活動に伴う環境負荷の低減

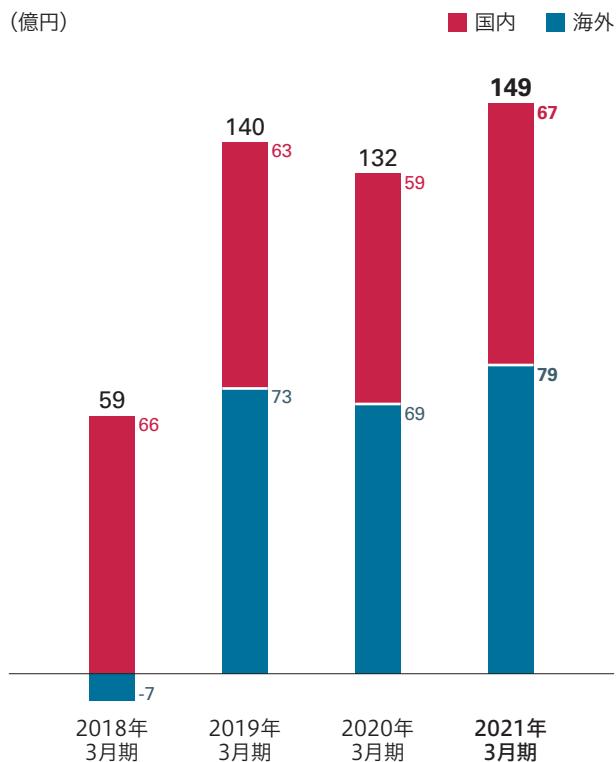
現在取り組んでいる中期経営計画NC2023では、社会の環境負荷を低減し、かつ当社の事業機会となる分野の取り組みとして、太陽電池関連部材やEV車向け原料など、環境・エネルギー分野を注力分野と位置づけています。また、事業活動に伴う資源の利用についても削減を進めるとともに、リサイクルに取り組んでいます。

## ファイナンシャルハイライト

### 売上高

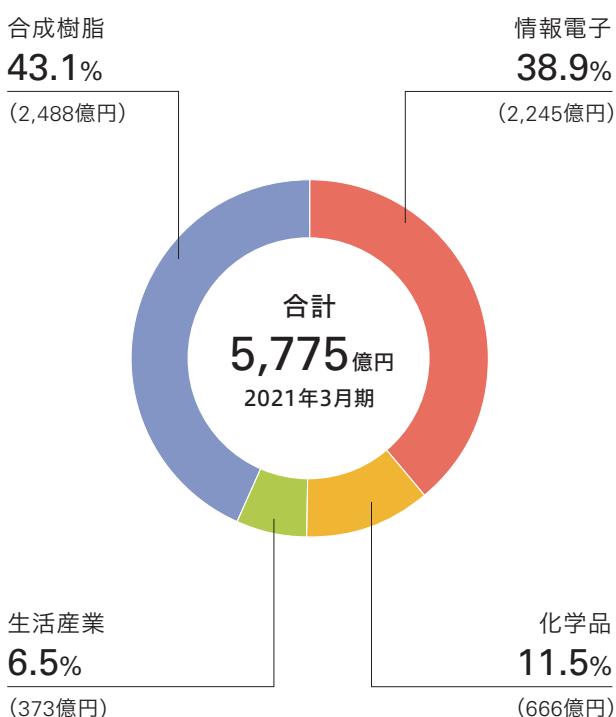


### 営業利益

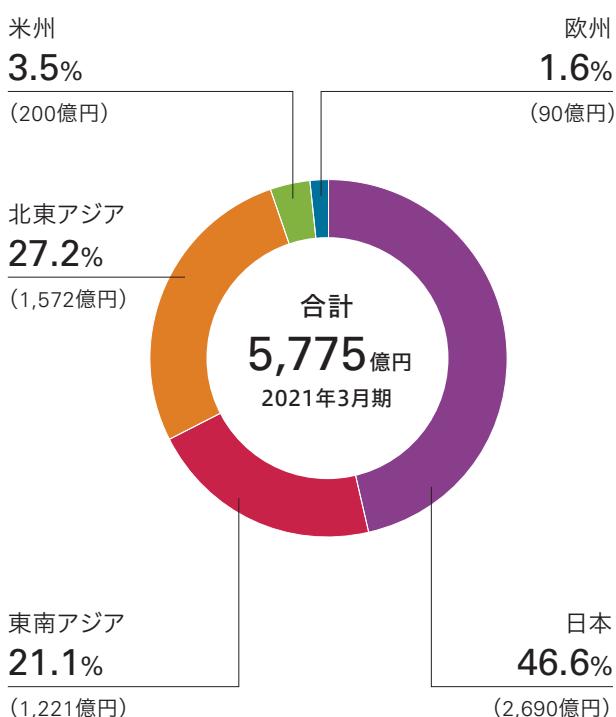


※連結営業利益と国内・海外の営業利益の合計との差は  
連結会計上の消去によるものです

### 事業セグメント別 売上高構成比

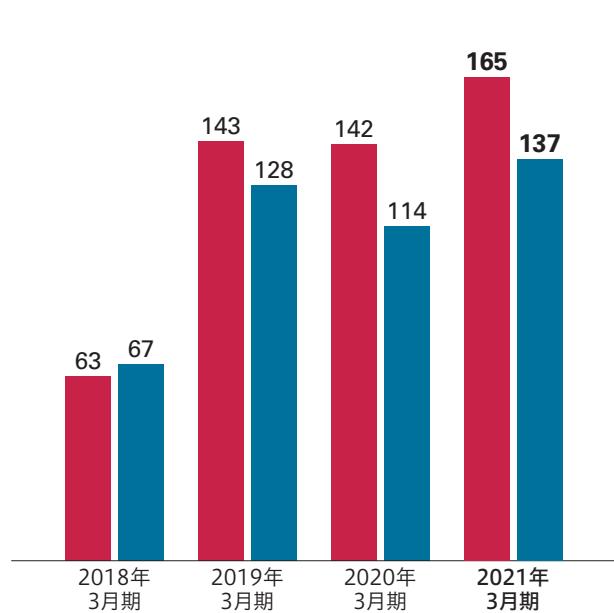


### 所在地別 売上高構成比



## 経常利益と当期純利益※

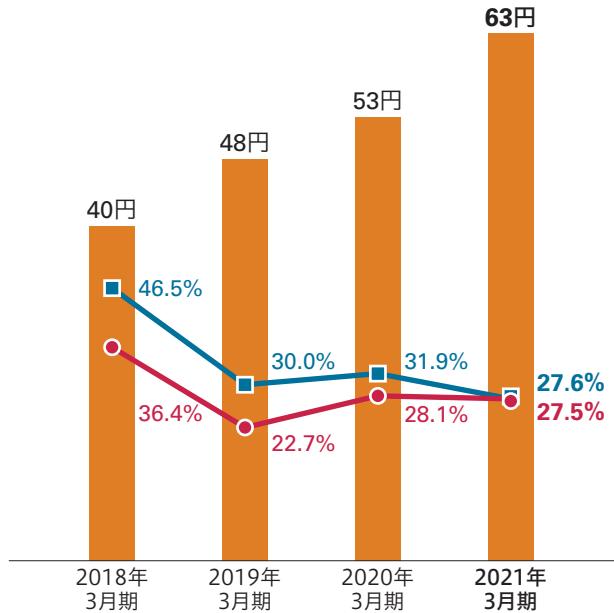
(億円) ■ 経常利益 ■ 当期純利益



※親会社株主に帰属する当期純利益

## 1株当たり配当金と株主還元指標

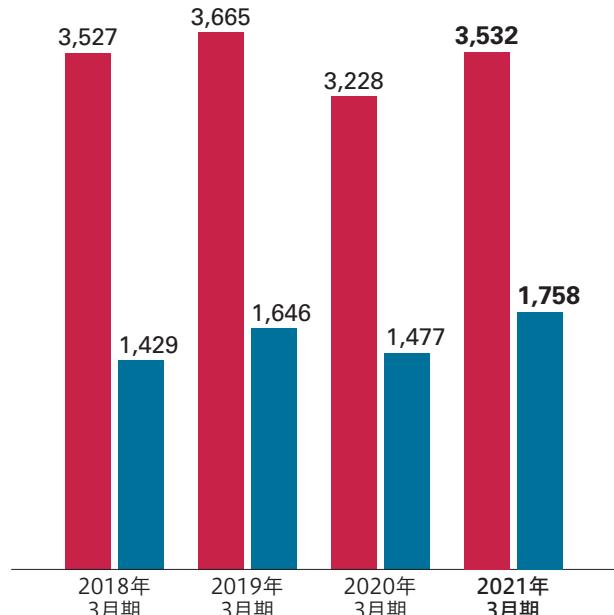
■ 1株当たり配当金 -●- 配当性向 -■- 総還元性向



※総還元性向 = (配当金額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益 × 100

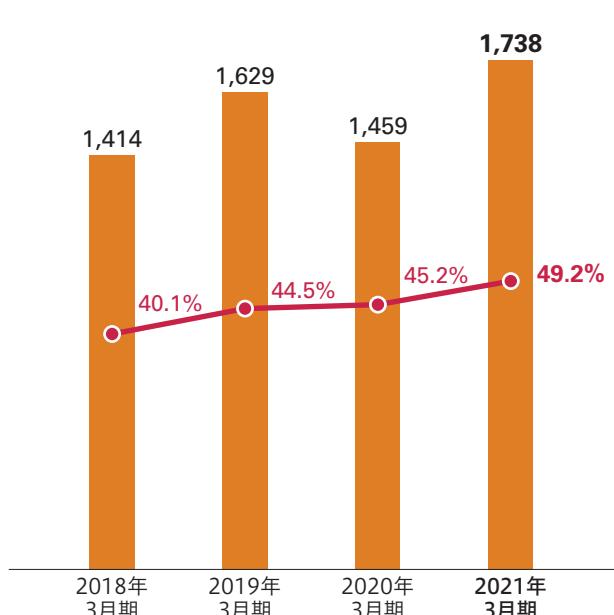
## 総資産と純資産

(億円) ■ 総資産 ■ 純資産



## 自己資本と自己資本比率

(億円) ■ 自己資本 -●- 自己資本比率



## 役員一覧 (2021年7月1日現在)



代表取締役社長執行役員  
稻畠 勝太郎



代表取締役専務執行役員  
赤尾 豊弘



代表取締役専務執行役員  
横田 健一



取締役常務執行役員  
杉山 勝浩



取締役常務執行役員  
安江 範臣



取締役  
大野 顯司



取締役  
佐藤 潔



取締役  
濱島 健爾



取締役  
萩原 貴子

代表取締役 社長執行役員	稻畠 勝太郎	
代表取締役 専務執行役員	赤尾 豊弘	情報電子・生活産業セグメント担当、 欧米地区担当
代表取締役 専務執行役員	横田 健一	管理部門全般担当
取締役 常務執行役員	杉山 勝浩	化学品セグメント担当、 情報電子セグメント担当補佐、 北東アジア地区担当
取締役 常務執行役員	安江 範臣	合成樹脂セグメント担当、 東南アジア地区担当
取締役	大野 顯司	(住友化学株式会社 常務執行役員)
取締役	佐藤 潔	(芝浦機械株式会社 社外取締役)
取締役	濱島 健爾	(ウシオ電機株式会社 特別顧問)
取締役	萩原 貴子	(株式会社DDD 代表取締役)
常勤監査役	望月 卓	
常勤監査役	久保井 伸和	
監査役	高橋 慶孝	
監査役	柳原 克哉	
監査役	玉井 哲史	
執行役員	花木 和宏	北東アジア総支配人
執行役員	河合 紳也	東南アジア総支配人
執行役員	高橋 豊	化学品本部長
執行役員	中野 幸治	合成樹脂セグメント担当補佐、 合成樹脂第一本部長
執行役員	田中 勝敏	情報電子第三本部長
執行役員	丸田 剛志	情報電子第一本部長

※取締役 佐藤潔、濱島健爾および萩原貴子は、社外取締役です  
※監査役 高橋慶孝、柳原克哉および玉井哲史は、社外監査役です  
※取締役の括弧内表記は、当社以外の主な兼務職です

# 企業情報

会社名 稲畠産業株式会社  
(英文: Inabata & Co., Ltd.)

創業年月日 1890年(明治23年)10月1日

設立年月日 1918年(大正 7年)6月10日

資本金※ 93億6千4百万円

国内拠点※ 大阪本社、東京本社、名古屋支店、  
塩尻営業所、浜松営業所、  
九州営業所(霧島市)

海外拠点※ シンガポール、バンコク、ジャカルタ、  
上海、香港、台北、ロサンゼルス、  
ニューヨーク、デュッセルドルフなど  
17カ国約60拠点

従業員数※ 単体: 656名  
(グループ会社への出向者を含む)  
  
連結: 4,203名

会計監査人 有限責任 あづさ監査法人

証券コード 東証第一部 8098

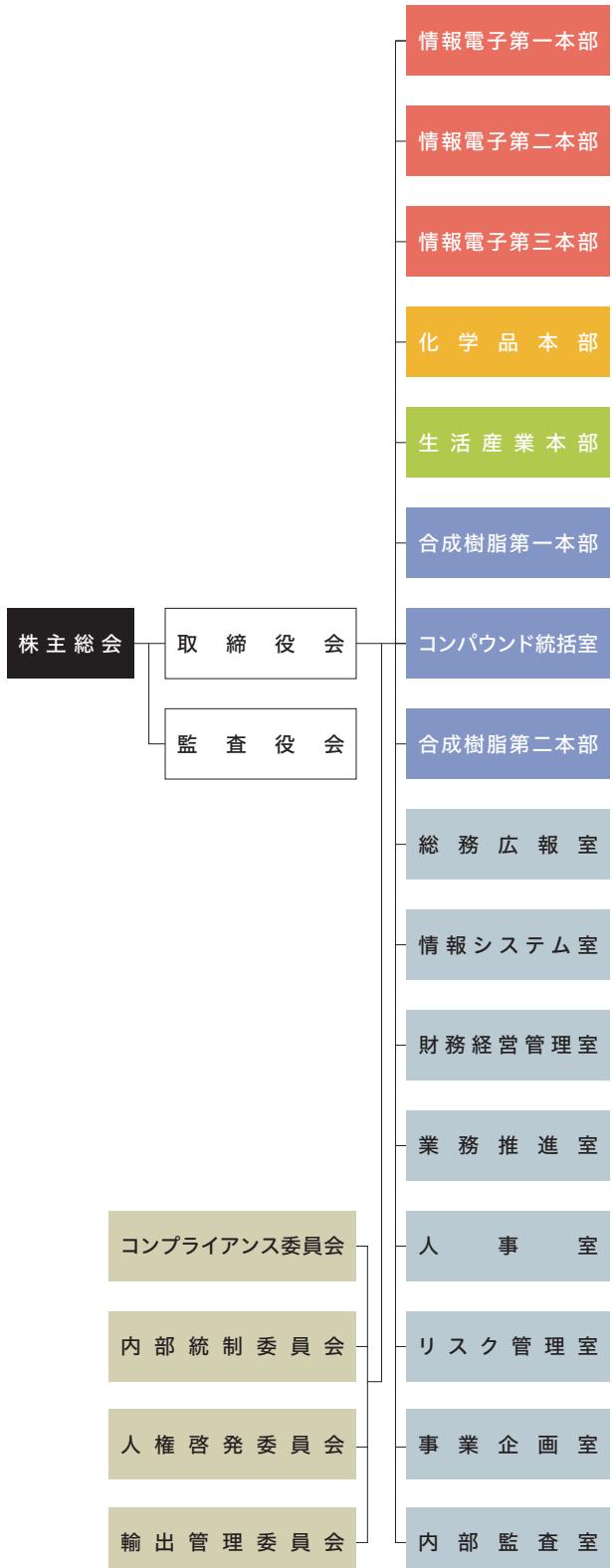
※2021年3月31日現在

## ウェブサイト

<https://www.inabata.co.jp/>



## 組織図 (2021年7月1日現在)





## IK 稲畑産業株式会社

大阪本社

〒542-8558 大阪市中央区南船場一丁目15番14号

東京本社

〒103-8448 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号



2021年8月発行